

指導(活動)分野	端唄・俗曲 三味線	指導 披露 講義
ふりがな	よしき りじょう	登録番号
氏名またはグループ名	嬉気 利誠	A - 5
指導(活動)内容	・江戸時代の歌謡曲「端唄」中心の三味線に触れてみませんか？ ・ワークショップが主ですが、簡単な披露や指導もいたします	
対象者の程度	<input checked="" type="radio"/> 気軽に楽しむ <input type="radio"/> 初心者向け <input type="radio"/> 中級者向け <input type="radio"/> 上級者向け <input type="radio"/> レベル問わず	
対象者の年代	<input type="radio"/> 乳幼児(親子) <input type="radio"/> 小学生 <input type="radio"/> 中高生 <input type="radio"/> 大人 <input type="radio"/> 高齢者 <input checked="" type="radio"/> どなたでも	
資格・指導の経験・活動歴	・2016年嬉気利帆に師事、2021年名取 ・年2～3回程度舞台での演奏、南区、港南区、磯子区など ・福祉施設などで演奏会 ・上大岡のカルチャースクール講師、出張やオンラインなどでの稽古	
経費	・指導(活動)料 5,000円 <input type="checkbox"/> 材料費 なし <input type="checkbox"/> 交通費 実費	

【プログラムの一例】

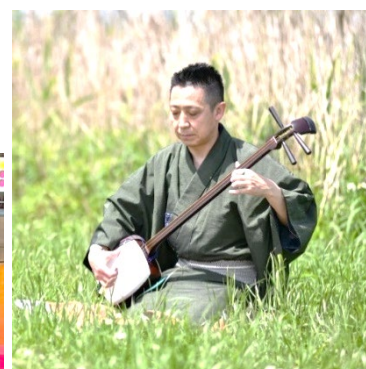
粹な端唄を気軽に楽しみましょう

定員:20人 所要時間:30～60分

- ① 三味線に触れてみましょう
- ② 三味線の音色を聴いてみましょう
- ③ 歴史や三味線の仕組みなどお話しします
- ④ 端唄・俗曲を一緒に唄ってみましょう
- ⑤ 少し弾いてみましょう(人数が少ないとき限定)

・普段あまり見ることがない三味線に触れ、洋楽器との音の違いなど聞いてみる機会になります

・「梅は咲いたか」「奴さん」「芝で生まれて」など、1度は聞いたことがある日本の唄を楽しんでみませんか



【街の先生からひとこと】

三味線音楽にはたくさんの種類があります。端唄は「短い唄」という意味で、江戸から明治にかけての歌謡曲です。伝統芸能というよりは、庶民文化。江戸時代の日常、どこにでもあった音色に、少しでも興味をもっていただけたら嬉しいです。